



北欧の美しい家具と出会う日
受継がれていくデンマークの椅子

コペンハーゲンで見つけた、13脚の「ザ・チェア」

1940年代以降のデンマークで、美しいデザインの木製家具が生まれたのは、優秀なデザイナーの力だけではなく、木の特性を知り尽くした、優れた木工職人との信頼関係があったからだと言われています。デンマークを代表する家具デザイナーであるハンス・J・ウェグナーも、伝説の家具工房、ヨハネス・ハンセン社の職長であったニルス・トムセンとの出会いがあったからこそ、「TheChair (椅子の中の椅子)」と呼ばれる、あの名作JH503を発表できたのです。TheChairは、製作工房が変わり、現在も作り続けられています。ただ、ヨハネス・ハンセン社の印が刻まれた当時のTheChairこそTheChairであり、希少なヴィンテージ家具としての評価も高く、世界中のハンス・ウェグナーファンなら一脚は手に入れたいと願うお宝椅子となっています。今回、そのヨハネス・ハンセン社製の、しかもマホガニー材のTheChairが、幸運にも13脚見つかりました。



デンマーク家具デザインの巨匠、ハンス・J・ウェグナー

1914年4月2日デンマーク・トゥナー生まれ。10代から木工技術を学びアルネ・ヤコブセンの事務所などを経て1946年に独立。1949年に発表した一脚の椅子が、のちに第35代アメリカ合衆国大統領となるジョン・F・ケネディに大統領選のテレビ演説用の椅子に選ばれました。

それがきっかけとなり、「TheChair」と呼ばれたこの椅子が、ハンス・J・ウェグナーという一人の家具デザイナーだけではなく、デンマーク家具そのものを一躍有名にし、60年代に興った世界的なスκανジナビアデザインブームの火付け役にもなったのです。ウェグナーはその後もデンマークの木工技術の伝統を受け継いだ椅子を500種類以上もデザインし、木工職人の経験として培った的確な構造と、その独創的なフォルムで現在でも世界中のデザイナーや作家に影響を与え続けています。2007年1月26日没。享年92歳。



アクタスとハンス・J・ウェグナーの関係

1981年、アクタスはそれまでの一般家庭向けの家具販売とは別に、ホテルや公共施設のインテリア工事を請け負うコントラクト事業を開始します。その記念すべき最初のプロジェクトは、熱海に計画されていた「MOA美術館」の仕事でした。

メンバーは、美術館の価値をより高めるためにデンマークに赴き、現地の名立たる家具メーカーを、北欧最大のコンベンションセンターである、通称ベラセンターに招き、MOA美術館プロジェクトへの協力を依頼しました。

「美しいものを見ると人の心は浄化されます。そのような教義を伝えるため、日本に生まれるこのミュージアムには、それにふさわしい、美しく、長く愛される家具が必要なのです」。わざわざ日本から北欧にまで出向き、協力依頼をする。そこには、とにかく上質で美しいものをつくりたいという一行の熱意がありました。その様子は現地の新聞に大きく掲載されたのです。

程なくして当時コペンハーゲンにあったアクタスのオフィスに、ある家具デザイナーから電話がありました。そのデザイナーは、なんとハンス・J・ウェグナー氏。本人自ら、新聞記事を見て「ぜひ自分も参加させてほしい」と申し入れてきたのです。予想外の申し入れにメンバーはさっそくデンマークに向かい、打ち合わせのためにウェグナーが運転するシトロエンに同乗し、ウェグナーが信頼する家具メーカーへと出掛けました。そして、原寸図面の作成からサンプル製作を繰り返し、ようやく誕生したのが、ウェグナー氏がMOA美術館とアクタスのためにデザインした「ジャパンチェア」だったのです。





北欧の美しい家具と出会う日
「受け継がれていくデンマークの椅子」

JH-503 「The CHAIR」 __used

価格/¥498,000-(税込)

デザイン/ハンス・J・ウェグナー

製造/ヨハネス・ハンセン社

素材/マホガニー・ブラックレザー

発売日 /8月13日(土)

展開店舗 /アクタス新宿店・大阪空港店・六甲店・京都店
スローハウス自由が丘・スローハウス梅田

販売数量 /13脚限定。

お問い合わせは、下記までお願い申し上げます。

株式会社アクタス ・広報室

直海祐一(ナオミュウイチ)

TEL / 03-5269-3207

FAX / 03-5269-3200

Mail / yuichi-naomi@actus-interior.com